

第2回 オープンバッジ・デザインコンテスト 結果発表！！

成城大学では、学生が学生を支援するサポーター活動が盛んであり、各団体の相互理解と連携を図る目的で、「Supporters' Forum」を開催しています。例年、多くの大学・高校のサポーター団体の皆さんに参加を呼びかけ、活発な交流が行われています。今年度は、同じくサポーター活動が盛んな甲南大学との共催で「Supporters' Forum」(2023年11月18日開催)を実施しました。

「Supporters' Forum」では参加者に対し、その参加をデジタルで証明する「オープンバッジ」を発行することとしています。

このオープンバッジのデザインは、広く学内外の学生の皆さんからコンテストを通じて募集し、審査委員会による審査のもと、グランプリ、準グランプリ、佳作の作品が選定されましたので、ここに発表いたします。



【グランプリ】



西浦 夢香 さん
成城大学 2 年

★デザインの理由★

各分野のサポーターが集まり、今後のサポーター活動に活かしていくきっかけの場にするということで、サポーター同士が「つながる」イメージからパズルを人型にして繋げ、柔らかい色味も意識して作成しました。

●審査委員会からのコメント●

この作品は、従来のバッジと異なる四角形のデザインが特長であり、色の選択も含めてデザインとして非常にユニークでありながら、温かみのある作品となっている。パズルのつながりでサポーターのつながりを表現したところも面白く、Supporters' Forum に参加することで生まれる新たなつながりと今後の関係性の継続・発展を期待させる作品である点が評価された。



【準グランプリ】



藤田 奈々子 さん
成城大学 1 年

★デザインの理由★

地球とグッドの背景が全国のサポーター学生と広く繋がるということを連想させたからです。明るい未来を連想するように文字の色を明るい色にしました。また、学生が学生の支援をするというフレンドシップと、このようなサポーター活動を今後ももっと世界に広げていきたいという思いを込めてこのデザインにしました。

●審査委員会からのコメント●

この作品は、日本だけでなく世界への発信を表現しており、他の応募作品と異なる視点をもっていることが特長となっている。サポーター活動を世界に広げるという志の高さが素晴らしく、にぎりしめた手と地球のデザインは、若々しく力強い印象を与え、サポーター活動の思いを推進する観点から見て、とても魅力的なデザインとなっていることがポイントである。



【佳作】(3作品)



尾崎まりあ さん
成城大学3年

★デザインの理由★

サポーターは自らの時間を使ってほかの生徒を助けてくれる心優しい存在です。その優しい心を表すハートと、天使の羽が生えた戦士を思い浮かべたので、テーマとしました。デザインにあたって、親しみやすいポップな雰囲気にと共に、爽やかでフォーマルな青を基調とすることを意識しました。



沼間 葵生 さん
成城大学1年

★デザインの理由★

サポーター同士が協力することから蜂と花の協力関係を連想して、それを軸にデザインしました。そして、より分かりやすくする為に、握手をしているイメージも取り入れました。背景のエメラルドグリーンは落ち着く色で、優しい雰囲気があるため、柔らかい雰囲気が出るかなと思い、選びました。



島野真由子 さん
成城大学1年

★デザインの理由★

サポートする人に対しての思いやりは絶対に欠かせないと思ったため、ハートをモチーフにしました。また、人と人が助け合っていることを表現したかったため、握手を取り入れました。さらにサポートする上で、それぞれ違った境遇だったり考えが違う様々な人々がいるということを手の色で表現しました。

●審査委員会による全体講評●

第2回となるオープンバッジ・デザインコンテストの応募作品は、いずれも「サポーター活動を推進したい！」という思いが伝わるもの」というデザインテーマを表現した力作ぞろいでした。今後も様々な背景から生まれる素晴らしいデザインが生み出されることを期待しつつ、各賞を決定いたしました。

<審査委員会>

委員	宇都宮大学	石井 和也	大学教育推進機構 基盤教育センター 副センター長
	甲南大学	関 和広	全学教育推進機構 教育学習支援センター 所長
	甲南大学	橋本 東奈	経済学部 4年生
	成城大学	都築 幸恵	副学長・教育イノベーションセンター センター長
	成城大学	山中 啓也	法学部 4年生
			(サポーターズフォーラム 2022 オープンバッジ・デザインコンテスト グランプリ受賞者)